



LETTERS

2019年7月発行

公益財団法人
佐倉国際交流基金

〒285-0025

佐倉市鑄木町198番地2

TEL・FAX 043-484-6326

増加する佐倉市在住の外国籍の人々

皆さんは、佐倉市内にどのくらいの外国籍の方々がいるかご存知でしょうか。現在佐倉市の人口は175,455人、そのうち外国籍の人口は3476人となっており（2019年5月末日現在）市内在住人口の約2%を占めています。この割合は、若干ながら毎月増えており、今後も大きくなっていくことでしょう。皆さんのご近所にも外国人の方の姿を目にすることが多くなってはいませんか？中には日本語の上手な方もいますが、日本に来たばかりで、日本語に苦労している方もいます。佐倉国際交流基金（SIEF）では、外国人の方々日本で生活するためのサポートとして、市内5か所で計10クラスの日本語講座を開設しています。ボランティア講師の皆さんが、それぞれ工夫をして、生活に役立つ会話や知識を教えています。学習者のレベルも様々で、日本語講座ではそのさまざまなニーズに応えるため、ベビーシッターのあるクラスを設けたり、働いている人が通いやすいよう、日曜日や夜間のクラスを設定しています。また、小中学生を対象としたクラスも開催しています。最近では、日本語を更に勉強したいという人もおり、中級以上のレベルのクラスもスタートしています。



日本語講座運営委員長の今村さんは、「4月から施行された改正出入国管理法により、外国人居住者の増加はさらに加速するものと予想されます。単に数が増えるだけでなく、学習者の出身国や年齢、学習の目的、レベルも多様になっていくことでしょう。今後は、地元自治体や学校などとの連携や協力、また外国人が勤務する企業や居住地の住民の方々の理解や協力が不可欠になってくるものと思われまいます。」とおっしゃっています。

あるクラスにお邪魔したところ、とても熱心な学習者の皆さんの姿を目にすることができました。中国人の生徒さんにインタビューすると、上手な日本語で「日本語を勉強するのは楽しいです。このクラスに来ることを毎週楽しみにしています。日本語はとても美しい。日本の人はとても親切。」と、目をキラキラさせて話してくれました。講師の方々からお聞きした学習者の様子では、食べ物や安全面で非常に満足しており、日本人の誠実さを偉大だと思う、などという声が聞こえてくるそうです。講座の後に井戸端会議でおしゃべりする主婦層の学習者や、どこかへ遊びに行く相談をする若者たちの姿も見られ、それらは日本人の主婦がお稽古事に通ったり、日本の学生たちの日常と何ら変わりなく感じられることもあるそうです。

日本語講座に通う目的は、それぞれ異なります。職を得るには日本語習得が欠かせないという理由の人や、子どもの学校からの手紙や勉強を理解するため、職場や地域でのコミュニケーションを良くしたいから、日本人ともっと会話を楽しみたいから、という人もいます。きっと日本人が海外に居住した時も、同じような思いから、その国の言葉を習おうと思うことでしょう。

しかし、日本に居住する外国人は、皆が幸せなわけではありません。難民申請中の人や生活に困窮している人も多くいます。また日本の習慣や常識に馴染めず、周囲とぶつかってしまう人たちや、学校の勉強が理解できず辛い思いをしている子供たちもいます。

外国からの人々を意思の通じない異邦人として距離を置いたり、或いは過度にお客様扱いすることなく、それぞれの習慣を尊重しながら、根本には同じ気持ちを持った人間同士として、隔たり無く交流していけることを目指していきたいものです。

佐倉国際交流基金は 30 周年を迎えました

昨年度、佐倉国際交流基金は設立 30 周年を迎えました。この間、理事の皆様を始め、多くのボランティアの方々のお力に支えられ、佐倉市国際文化大学、佐倉国際スピーチコンテスト、イングリッシュサロンなどの国際相互理解推進事業や日本語講座を始めとした外国人支援事業に取り組んで参りました。ご協力下さった皆様には心より感謝申し上げます。

昨年 10 月 20 日には、国立歴史民俗博物館を会場に 30 周年行事を執り行い、記念式典では、当基金の宍倉理事長の挨拶に始まり、ご来賓の方々にご祝辞をいただきました。続いて、揚琴奏者の青野淳子氏による大変珍しい揚琴の演奏に、来場の方々は耳を傾けました。

第 2 部は、佐倉市国際文化大学公開講座も兼ねた記念講演会で、国立歴史民俗博物館副館長である西谷大氏が「食物と自然の秘密」をテーマに、中国の豚やねずみの話など、国と習慣の違いを話題にユニークな講義をされました。

当日は、賛助会員の皆様を始め、市内外から多くの方々にお越しいただき、盛大に式典を終えました。

グローバル化の進む中、国際交流基金の担う役割は今後とも大きくなることと思います。より多くの皆様のご支援・ご協力を心より、お願い申し上げます。

インフォメーション（SIEF 事業）

佐倉市国際文化大学第 1 回公開講座が、6 月 22 日（土）に志津コミュニティーセンターで開催され、「どうなるトランプ政権、米国の進路」という講演テーマで、慶応義塾大学教授の渡辺靖先生にご登壇いただきました。トランプ大統領就任後の分断が進む米国社会の最新情報や米中貿易摩擦、イランや北朝鮮そして対日等の不確実性が一層高まる国際情勢について、渡辺先生の米国取材に基づくホットなお話で、来場した約 300 人の受講者は、緊張感に包まれながら聴き入りました。講義終了後は、受講者からの多くの質問にもお答えいただき、あっという間の 2 時間でした。

第 2 回公開講座は、下記を予定しております。



◆佐倉市国際文化大学 公開講座

開催日時： 2019 年 9 月 21 日（土）
13:30～15:00

会 場： 中央公民館 大ホール

参加費： 無料

内 容： 多国間主義とトランプ政権の米国第一主義

講師 古城 佳子氏（東京大学大学院総合文化研究科 教授）

申し込み： 不要 先着 250 名

インフォメーション（SIEF 事業予定）

◆佐倉国際スピーチコンテスト

開催日時： 2019年10月20日（日）10:00～16:00
会場： ミレニアムセンター佐倉 ホール
参加費： 無料
対象： 小学生（英語） 先着50名
中学生（英語） レシテーション 先着15名
スピーチ 先着10名
応募受付： 8月19日（月）～9月20日（金）
申込フォーム（ホームページ）



※ コンテストは中学生のみ
※ 原則佐倉市在住・在学（参加者全員に図書カードなどが贈られます。）

◆日本語講座のつどい

開催日時： 2019年11月17日（日）13:00～16:00
会場： ミレニアムセンター佐倉 ホール
参加費： 無料
内容： 日本語によるスピーチの部（予定）
交流の部（お国の踊りや唄など）（予定）
※ 昨年同様、楽しい企画を用意しています。
より多くの皆様のご来場をお待ちしています。



ご案内

◇国立歴史民俗博物館



特集展示「もののけの夏 - 江戸文化の中の幽霊・妖怪 -」

場所： 企画展示室 B
会期： 2019年7月30日（火）～9月8日（日）
開館時間： 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日： 月曜日

※8月12日（月）は開館します。

*最新情報は、HP 等でご覧下さい。

◇DIC 川村記念美術館

コレクション Viewpoint 追悼 山口勝弘 1928-2018

会期： 2019年6月22日（土）～9月1日（日）
開館時間： 午前9時30分～午後5時
休館日： 月曜日（祝日の場合は、翌日が休館日となります。）

*最新情報は、HP 等でご覧下さい。



●● 賛助会員紹介 (株) 広域高速ネット 二九六 ●●

広域高速ネット二九六（愛称：ケーブルネット 296）は、1987年10月に全国に先駆けて、千葉県佐倉市ユーカリが丘に都市型ケーブルテレビ会社としてスタートしました。通常番組にはない、映画・スポーツ・音楽・料理などの多彩な映像を提供するテレビサービス、大容量のデータ通信を可能にするインターネットサービスや、お得で便利なケーブル電話サービスは多くの方に親しまれています。

現在では、佐倉市、四街道市、千葉市花見川区・若葉区・緑区、印旛郡酒々井町、八街市、富里市、東金市、印旛郡栄町、印西市、山武市、大網白里市、茂原市、成田市、香取市、香取郡神崎町にエリアを拡大し、高速・大容量のデータ通信サービスを提供するFTTH化（光ファイバー回線化）にも取り組んでおり、今後ともブロードバンドのリーディングカンパニーとして躍進していきます。

■本社 〒285-0858 佐倉市ユーカリが丘 4-1-1

スカイプラザサウスタワー2階

■通信技術センター 〒285-8586 印旛郡酒々井町本佐倉 415-2

■HP : <https://www.catv296.co.jp/>



事業・収支報告

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 国際相互理解推進事業 | 3 外国人支援事業 |
| ○公開講演会 | ○外国人のための日本語講座 |
| ○佐倉市国際文化大学 | ○外国人のための生活相談 |
| ○佐倉国際スピーチコンテスト | 4 その他附帯事業 |
| ○イングリッシュサロン | ○国際交流ボランティア活動 |
| 2 国際交流活動支援事業 | ○後援事業 |
| ○国際交流団体へ助成 | ○国際交流活動等情報提供 |

◇2018年度決算のあらまし（佐倉市よりの受託事業を含む）

収入の部		支出の部	
基本財産運用収入	3,259,972	事業費	7,525,831
会費収入	557,000	管理費	1,544,200
事業収入	5,186,000	経常費用計	9,070,031
雑収入	4,412		
寄附金 他	50,387		
経常収益計	9,057,771	当期一般正味財産増減額	△12,260

※ 詳しくは、SIEF HP (<http://www.sief.jp>) をご覧ください。

○外国人のための生活相談

電話相談、状況によって面談を。行政などの依頼を受けて、相談員と登録ボランティアが行政や他の外国人支援団体などと協力して、外国人に対する直接支援活動を実施しています。

スペイン語・英語・中国語 時間：10:00～16:00 場所：事務局 他

※ 事前の予約は、事務局まで（電話・FAX 043-484-6326 メール info@sief.jp）

公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局 (SIEF)

〒285-0025 佐倉市鏑木町 198 番地 2 レインボープラザ佐倉 2F

電話・Fax 043-484-6326（月～金 9:00～17:00）

HP: <http://www.sief.jp> Email: info@sief.jp